

あかまつ

令和3年度
南相木小学校だより

No.09 2022年1月号



ミドリヒョウモンです。南相木で多く見られた種類です。ヒョウモンの仲間は似ていて判別が難しいので、写真で同定しています。

スケート教室がありました

晴天で暖かな陽気の中、12月2日に第1回目の全校スケート教室がありました。前日夕方はリンクコンディションが悪く使用不可だったため、実施が心配されました。そこで、当日松原湖スケートセンターに確認をとって実施の配信をさせていただきました。



椅子などの補助具を用いたり、教え合ったり、励まし合ったりしながら、楽しく周回を重ねている姿がありました。1・2年生では、それより前に行われた1・2年のスケート教室の時よりも多く滑ることができて上手になったと満足げに話してくれる子どもも見られました。



12月14日の2回目の全校スケート教室も、天気、氷共にベストコンディションの中、一生懸命練習に励むことができました。冬のスポーツに楽しみながら取り組み、たくましく育つ子どもたちです。

1月には2回のスケート教室を予定しています。参観も兼ねていますので、お子様の頑張る姿、成長の姿をお楽しみにぜひお出かけください。

なかよしアンケートを行いました

児童のなかよしアンケートをGoogle forms（オンライン）と紙での回答を選択・併用して実施しました。

「あなたは、今の学年になってから、友だちからいやなことを言われたり、されたりしたことがありますか。」

「あなたは、今の学年になってから、友だちにいやなことを言ったり、したりしたことがありますか。」という質問項目に対し、回答があった事案については、各担任が児童から聞き取りを行い、状況を把握して指導を行いました。一部経過観察中のものもありますが、多くの事案が解決済です。

具体的には、「わる口やいやなことを言われた」「わる口やいやなことを言った」が一番多かったです。「言った」という自覚のある件数の倍以上に「言われた」という件数が多いことから、言葉の選び方や使い方、言い回しなどが適切でなく、相手に伝わらないことがあったり、誤解されるようなことがあったりしたようです。

でも、このようなことは子どもに限らずに大人の世界でもよくあることです。だからこそ、繰り返し「一人ひとりの気持ちや良さに気づき、自分もまわりの人も大切にしよう」といった、なかよし旬間のねらいに戻ることが大切であると考えています。今後も学校では、予防、早期発見、早期対応を大切に指導して、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるように努めていきたいと思います。



お子様が家で学校のことや友だちのことで何か心配や不安がある旨を話されたときは、担任又はどの職員でも構いませんのでご連絡ください。

保健室を基本の窓口としていますが、いじめや体罰をはじめとして、セクシャルハラスメント等のようなご相談でも、学校が開いている時間帯でしたら、いつでもお声がけください。

1月の主な予定

2022年のスタートです。1年の始まりに、目標を立てて努力し、よい年にしたいですね。



ペア読書
(←左上)
コラボ給食
(右上→)
ブラックシアター
(下↓)



1月7日(金)

3学期始業式
安全点検日

8日(土)

松原湖スケート大会

10日(月)

成人の日

13日(木)

全校スケート教室
(参観①)



14日(金)

漢字検定

18日(火)

発育測定(低学年)

20日(木)

発育測定(高学年)

21日(金)

全校スケート教室(参観②)

24日(月)

朝:読み聞かせ

26日(水)

学校運営委員会

29日(土)

佐久地区重唱発表会

一輪車教室がありました

ベルマーク教育財団のご厚意で、世界大会にも出場され活躍されているインストラクターの佐藤さん、高田さんをお招きして「一輪車講習会」を行いました。

前半の部では全校で模範演技を見せていただきました。軽快な音楽に乗ってお二人の息の合った技が決まる度に、子どもたちから大きな歓声と拍手が沸き起こりました。

後半の部では、1年生と4年生が一輪車の指導を受けて練習しました。

世界レベルの演技を見て、一輪車に取り組むきっかけをいただくよい機会になりました。



読書旬間がありました

ペア読書やブラックシアター、コラボ給食、親子読書、先生方のおすすめ本、校長先生からは「まいにちがプレゼント」という素敵な本の読み聞かせがありました。

読書旬間中、休み時間の本の貸し出しを行ったり、「3びきのやぎのがらがらどん」のブラックシアターの朗読を担当したり、児童会の図書委員会の子どもたちは大活躍でした。「普段は図書館に来ない子も来てくれてうれしかった。」「委員会のおすすめ本をたくさん借りてくれてうれしかった。」と、それぞれの取組を全校で受け止めてくれていたのでうれしかったようです。

旬間中は「親子読書」のご協力ありがとうございました。旬間が終了しても引き続き、親子で一緒に読書をしたり、読み聞かせをしたりして、本に親しみつつ親子のふれあいの時間をお持ちいただければと思います。

今現在、学校は、12月らしい冬の飾りや2学期に制作した子どもたちの作品が所狭しと飾られています。読書と同じく学校の環境整備も、大事な情操教育のひとつとして進めていきたいと思っています。



二学期終業式(校長先生のお話より)

12月24日(金)終業式では、校長先生から2学期を振り返って子どもたちへお話がありました。

11月に実施した人権講演会「佐久聾太鼓」をふり返り、①「まわりの人と、わかりあって、助け合って生きる」という勉強ができたこと、②6年生をお手本に、「思いやりの心をもって、しっかり話し、しっかり聞いて、伝え合う」ことが、これからもできるようにしてほしい、といったお話がありました。

そして、冬休みにしかできないこと(大掃除、おせち料理作りの手伝い、親戚へのあいさつ、初詣、お正月遊びなど)をぜひ頑張って、3学期元気に登校できるのを待っています、と期待されていました。

2021年は残すところあとわずかとなりました。保護者の皆様・地域の皆様には、様々な場面でご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。

2022年も引き続き子どもたちの健やかな成長を願うとともに、皆様にとってよい年になりますようにお祈り申し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。